

## 常任委員会 活動

### ■第4回総務文教常任委員会

委員会開催にあたり町長から報告が1件ありました。幌延町は10月を目途に宗谷総合振興局へ移管する計画であったが延期となった。

### ◎調査事項

- 幌延町公民館の解体に伴う施設の代替運用について
- (1) 代替施設は、役場・老人福祉センター・総合体育館・農村環境改善センター・国際交流施設。各施設の利用申し込みは、教育委員会社会教育グループに照会後、申請書を提出する。
  - (2) 国際交流施設の使用概要の説明。
  - (3) 団体の使用料の支援について、町が使用料金を負担し使用団体の活動促進を図る。支援対象は町が後援する会議や行事。幌延町公民館の減免団体で本来の目的達成の為に使用する場合、支援の期限は平成23年3月31日とする。
- 問 その後の支援は。  
答 平成23年4月に生涯学習センターが出来るので、使用料金を減免規定を含め見直し、検討したい。

### ■第3回産業厚生常任委員会

### ◎調査事項

特別養護老人ホームこざくら荘の増床について

診療所の開設との兼ね合いで、供用開始を平成23年4月に予定している。幌延福祉会からの要望もあり、係る経費等を補助したい。

- ・増床等内容は、定員10名(個室)
- ・ショートステイ3名(個室)
- ・予定として、21年12月実施設計完了、22年5月工事着工22年12月竣工。
- ・費用

- ①実施設計委託料7百71万8千円。
- ②工事費(備品含む)2億円余(概算)
- ③ボイラー改修費 未定

### 安全で安心なまちづくり 推進条例(案)について

自らの安全は自らが守るという意識を持つとともに、町民にとっても、本町を訪れる人にとっても、安全で安心なまちの実現を図ることを決意し、条例制定したい。

- 第1章 総則
  - 第2章 基本的施策
  - 第1節 防災対策
  - 第2節 防犯対策
  - 第3節 児童等の安全の確保
  - 第4節 青少年の健全育成
- 第3章 推進体制等

### 平成21年度管内町村議員研修

管内8町村議会議員と事務局員約百名が遠別町生涯学習センター(マナピー)に参集し今年度の研修会を開催した。

講演には赤平市在住の株植松電機専務取締役植松努氏を招き『思うは招く、夢があれば何でもできる』と題して子供の頃からの夢だった国産ロケット開発を手掛ける会社を設立。

「どうせ無理だという言葉葉をこの世からなくすため

に可能性を追及し決してあきらめないこと」と力説。研修会参加者全員を感動させた。



管内議員研修

## 議会の動き



- 8月17～18日 ▼議会広報研修会
- 9月1日 ▼留萌管内議会議員研修会
- 9月2日 ▼第3回議会運営委員会
- 第4回総務文教常任委員会
- 第3回産業厚生常任委員会
- 第4回議員協議会
- 国際交流施設視察
- 9月16～17日 ▼第4回定例会
- 9月17日 ▼第43回議会報発行特別委員会
- 10月2日 ▼第3回全員協議会
- 10月6～9日 ▼原子力機構報告会(東京都)
- 10月7日 ▼第44回議会報発行特別委員会
- 留萌広域行政組合議会(羽幌町)
- 10月8日 ▼第45回議会報発行特別委員会
- 10月13日 ▼第46回議会報発行特別委員会
- 10月16日 ▼国際交流施設開館式典

### 編集にあたって

8月18日に北海道町村議会議長会主催による議会広報研修会が行われました。

じつは議会広報誌にも全国コンクールがあります。その最優秀賞を受賞した福島県広野町の議会報を資料に、全道の町村議会広報委員約4百名が議論したり、講師との質疑応答など研修をしました。

今回の研修で学んだことを町の議会報にいかし、町民の皆様により分かり易く、そして議会を身近に感じていただけるような広報誌作りをしていきたいと思えます。



- |        |     |
|--------|-----|
| 編集委員長  | 植村  |
| 副編集委員長 | 無量谷 |
| 編集委員   | 菅原  |
|        | 裕之  |
|        | 利彦  |
|        | 敦   |